

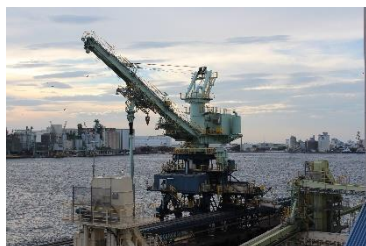
◆プログラム名：安全で豊かな食生活のために ～食糧用小麦の流通の仕組み～

プログラムの内容

▶小麦の取扱量国内第1位である千葉港に立地する千葉共同サイロの見学を通じて、海外からどのように食糧が搬入され、どのように食卓まで届くのかを学びます。

対象となる【SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」】

- ▶**ゴール2（ターゲット2.C）**：食料価格の極端な変動に歯止めをかけるため、食料備蓄などの市場情報への適時のアクセスを容易にする。
- ▶**ゴール12（ターゲット12.3）**：小売・消費レベルにおける食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの食品ロスを減少させる。
- ▶**ゴール17（ターゲット17.17）**：さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的なパートナーシップを奨励・推進する。



事前学習

- ▶日本の食料自給率を調べてみよう。
- ▶海外から船で輸入されてきた商品はどんなものが、どこの国(港)から輸入されているか調べてみよう。
- ▶千葉港についての特徴や他の港との違いを比較をしてみよう。

現地学習

- ▶食品コンビナートの特徴、仕組みについて調べてみよう。
- ▶千葉港から輸入されてきた小麦がどのように私たちに届くか線を引いてみよう。

事後学習

- ▶安全で豊かな食生活を送るためにはどうすれば良いか、まとめてみよう。

プログラムのポイント！



日本の主要な輸入食糧である小麦。普段見る機会の少ない小麦の輸入から保管、そして私たちにどのように届くのかを学ぶことにより、私たちの食生活について考えるきっかけとすることができます。

受入人数	5～25名（応相談）
受入可能時期（休業日）	平日（土日祝休み）
受入可能時間	9:00～16:00
体験時間	60分

対象	中学生・高校生
1人/1回 当たり料金	無料
備考 (雨天対応等)	受入れ不可日あり

▶問い合わせ

名称：千葉共同サイロ株式会社

連絡先： cks_information@mail.kyodosilo.co.jp